

# 職務経歴書

氏名

(作成日：平成29年 ○月 ○○日)

## ダイジェスト版 (A4・1枚以内・11ポイント以上)

1. 最終学歴 (○で囲んでください。) 学士 **修士** 博士

2. 経年数 これまでの研究開発業務、及び、知的財産業務の経年数を記載してください。

研究開発業務の例：修士課程在籍、博士課程在籍、大学・研究機関等での研究、企業における研究開発業務等

知的財産業務の例：企業における知的財産業務（知財部等）、特許事務所勤務等

※ただし、企業等での経験がなく、博士課程前期及び後期での研究開発経験のみの方に関しては、博士号を取得又は取得見込みであることが条件となります。

(a) 研究開発業務経験：通算 9年 0ヶ月

(b) 知的財産業務経験：通算 7年 6ヶ月

(a)+(b) 計： 16年 6ヶ月

適切でない記載例：

・レーザープリンタの開発

・自動車の開発

※技術内容が分からないため

### 3. 研究開発業務経験

(1) これまでに経験した主な開発製品、研究開発テーマのうち、特にアピールしたいものを記載してください(具体的にどのような業務に関わっていたのかについて簡潔に記載のこと。担当時期及び当時の所属も記載のこと)。

平成15年 4月～平成17年 3月：レーザープリンタの低温定着技術の開発 (○△(株) △△事業部)

平成17年 4月～平成19年 3月：自動車の速度制御システムの開発 (○△(株) 中央研究所 □□グループ)

平成19年 4月～平成22年 3月：LTE通信モジュールの設計 (○△(株) 技術サポートセンター)

(2) 主要業績(特許出願、学会・論文発表、表彰等)を記載してください。

平成16年10月：特願○○○○-▲▲号(特許第□□号)

平成 年 月：

### 4. 知的財産業務経験

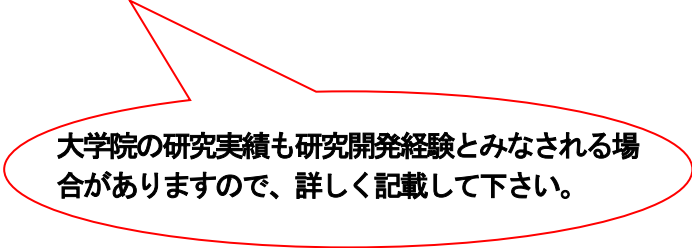
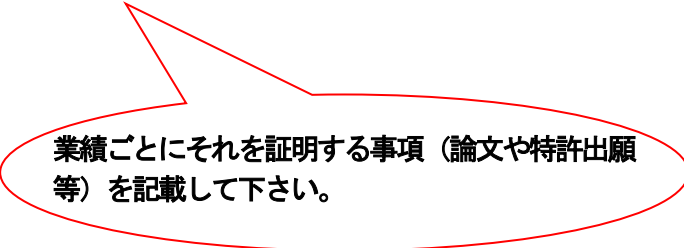
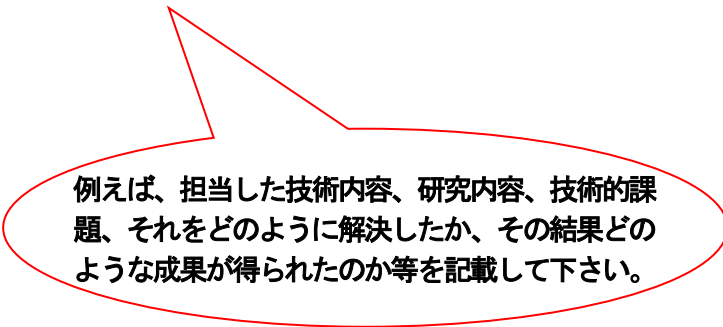
これまでに経験した主な知財関連業務経験を記載してください(具体的にどのような業務に関わっていたのかについて簡潔に記載のこと。できる限り細分化された担当技術分野も記載することが望ましい。担当時期及び当時の所属も記載のこと)。

平成22年 4月～平成25年 3月：自動車の速度制御システム技術の関連技術について、研究開発部門と共同で  
出願書類の作成業務を技術的な面からサポート

(○△(株) 知的財産部□□グループ)

平成25年 4月～現在 : 主に情報通信技術(特に、移動体通信技術、暗号化技術、圧縮技術)について担当し、弁理士の明細書作成業務を技術面から補助(○×国際特許事務所)

## 詳細版

年	月	学歴、職歴、経歴、業績、資格取得等
(和暦) 年	月	(必要により欄が次ページにまたがっても構いませんので、可能な限り分かり易く具体的に記載してください。 <u>ダイジェスト版に記載しなかったことも含めて記載してください。</u> 最終合格後、本職務経歴書に記載された学歴、職歴、業績等を証明するための資料を御提出いただくことになります。)
平成13年	3月	〇〇大学 工学部 △△学科卒業
平成13年 平成15年	4月 3月	同大学大学院 工学研究科 〇〇専攻 修士課程入学 同 修士課程修了 〇〇について研究を行い、××の成果を得られた。
		 <p><b>大学院の研究実績も研究開発経験とみなされる場合がありますので、詳しく記載して下さい。</b></p>
		同成果を△△学会に発表。 〇〇学会講演論文集 p. ××～p. ××
		 <p><b>業績ごとにそれを証明する事項（論文や特許出願等）を記載して下さい。</b></p>
平成15年	4月	〇△株式会社入社 配属部署：△△事業部 ××開発部 ▲▲グループ レーザープリンタの低温定着技術に関する研究開発を担当。 ▲▲とは、××の技術であり、従来△△という技術課題が存在していた。これを□□という技術を開発することで克服し、〇〇の成果を挙げることができた。
		 <p><b>例えば、担当した技術内容、研究内容、技術的課題、それをどのように解決したか、その結果どのような成果が得られたのか等を記載して下さい。</b></p>

詳細版（次ページ）※必要に応じて（枚数を増やして）ご使用下さい。

年	月	学歴、職歴、経歴、業績、資格取得等
(和暦) 年 月 平成16年	10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成15年から取り組んできたレーザープリンタの低温定着技術の研究成果を「レーザープリンタの低温定着技術の開発研究」として、〇〇学会に発表                          〇〇学会講演論文集 p. ×～p. ××</li> <li>・「レーザープリンタの低温定着技術」に関する一連の発明について、特許を3件出願（うち2件は特許取得済み）                          特願〇〇〇〇-〇〇号（特開〇〇〇〇-〇〇号公報）                          特願〇〇〇〇-▲▲号（特許第□□号）                          特願〇〇〇〇-××号（特許第△△号）</li> </ul>
平成17年	4月	配属部署：中央研究所 □□グループに配属  自動車の速度制御システムの開発を担当。 自動車の速度制御システムは、××の技術であり、従来△△という技術課題が存在していた。これを□□という技術を開発することで克服し、〇〇の成果を挙げることができた。  <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車の速度制御システムの開発の研究成果を「自動車の速度制御システムの開発研究」として、〇〇学会に発表。同学会において第△回××賞を受賞。                          〇〇学会論文誌 p. ×～p. ××</li> <li>・「自動車の速度制御システム」に関する一連の発明について、特許を5件出願（うち3件は特許取得済み）                          特願〇〇〇〇-▲▲号（特許第□□号）                          特願〇〇〇〇-××号（特許第△△号）                          特願〇〇〇〇-▼▼号（特許第◎◎号）</li> </ul>

年	月	学歴、職歴、経歴、業績、資格取得等
(和暦) 年 平成19年	月 4月	<p>配属部署：技術サポートセンターに配属 LTE通信モジュールの設計について担当。 ××プロジェクトの一環として、LTE通信モジュールの開発設計を担当。設計に際し、従来の設計方法では△△の問題が生じていたため、本社中央研究所と共同で□□技術を共同開発した。</p> <p><b>設計業務の場合、どのような問題が生じ、それをどのように解決するために、どのような先端的な技術を開発したのかを記載して下さい。</b></p> <p>・共同開発について社内技報で紹介 (株) ○○技報 p. ×～p. ××</p> <p><b>論文、特許出願以外にも、社内報等も業績を証明する資料となり得ます。</b></p>
平成23年	4月	<p>配属部署：知的財産部□□グループに配属 主に権利化業務を担当。中央研究所時代に研究を行った自動車の速度制御システム技術の関連技術について、研究開発部門と共同で出願書類の作成業務を技術的な面からサポートした。</p> <p><b>知財業務の場合、担当した技術、担当した業務（権利化、ライセンス等々）について記載して下さい。</b></p>
平成25年	3月	○△株式会社退社
平成25年	4月	○×国際特許事務所入所
	～ 現在	主に情報通信技術（特に、移動体通信技術、暗号化技術、圧縮技術）について担当し、弁理士の明細書作成業務を技術面から補助している。